

総合評価落札方式の改正について（概要）

工事の入札に係る「総合評価落札方式」を改正し、平成28年2月19日以後の告示分から適用することとしましたので、お知らせします。

なお、個別の適用については、それぞれの工事の告示をご確認ください。

改正の目的・概要

改正の目的と改正概要は以下のとおり（詳細は「配点表」「落札者決定基準」等でご確認ください。）

■地元企業の受注機会の拡大

- 「市内企業であること」をより高く評価

地元企業の幅広い受注機会を確保

- 新たに「当該年度における本市との工事請負契約の件数」を評価

下請契約においても市内企業の受注機会の拡大を促進

- 『市内企業の施工比率が95%以上』をより高く評価

■若手・女性技術者の育成・活躍の推進 ⇒「人材育成型」の配点の見直し

積極的に若者を雇用し、技術者として育成している企業を支援

- 新たに『3年以上雇用している30歳未満の有資格者』を評価

若手技術者の登用を促進

- より若い技術者の活用をより高く評価（配点の引上げ・配点差の拡大）

〈配点〉30歳未満：3.0点→4.0点、30歳～35歳未満：2.0点（変更なし）、35歳～40歳未満：1.0点→0.5点

女性の活躍を推進

- 女性技術者の登用をより高く評価（配点の引上げ 0.5点→2.0点）

豊富な実績を有していない若手・女性技術者をより適切に評価

- 若手・女性技術者の現場代理人の従事経験を幅広く評価

■インセンティブ効果の拡大

- ⑧「表彰回数」と「雪対策事業等の従事実績」の配点を拡大

■施工能力の適正な評価 ⇒技術力の差を得点差に反映

- ⑨「工事实績の成績点」「主任技術者の従事経験・従事工事の成績点・資格保有状況」の評価について、最高位と次順位の配点差を拡大

改正後の体系

■ 型式・目的・対象等級

改正後の総合評価落札方式の体系は以下のとおり（改正点は赤字）

型式	目的 ≪特徴≫	対象等級
計画審査型	施工計画を審査し、技術力の高い企業を選定	最上位等級
実績評価Ⅰ型	技術力が高く・実績のある企業を選定 ≪Ⅰ型は比較的規模が大きく難度の高い工事に適用≫	
実績評価Ⅱ型	≪Ⅱ型はⅠ型よりも評価項目を簡素化、中小企業のみ さんが取組みやすい評価項目を設定≫	全等級
人材育成型	若手・女性技術者の登用を促進 人材育成に積極的に取り組む企業を支援	全等級
(名称変更) 地域貢献Ⅰ型	地域インフラを担う企業を支援	全等級
(新設) 地域貢献Ⅱ型	≪Ⅱ型はⅠ型よりも評価項目を簡素化、中小企業のみ さんが参加しやすい評価項目を設定≫	

評価項目・配点の見直しについて

【計画審査型・実績評価Ⅰ型・実績評価Ⅱ型・人材育成型・地域貢献Ⅰ型】

略称：計画審査型→計画、実績評価Ⅰ型→実績Ⅰ、実績評価Ⅱ型→実績Ⅱ、人材育成型→人材、地域貢献Ⅰ型→地域Ⅰ

■ 評価項目の新設

以下の評価項目を新設します。

新設する評価項目	型式	評価内容(概要)
本工事に関連する本市まちづくり事業等の活動実績	実績Ⅰ 実績Ⅱ	当該工事・工種に関連したボランティア活動や各種まちづくり事業等への参加実績を加点します。 【評価対象の事業等は工事ごとに告示で指定】 ※平成28年度は造園工種に限定して運用します。
資格保有者の育成状況	人材	満30歳未満で一級又は二級の資格保有者（配置予定技術者を除く。）を、3年以上継続して雇用している場合に加点します。
本市の社会資本を支える地元企業の契約件数の状況	地域Ⅰ	市内企業の当該年度における本市との工事請負契約の件数を評価します。 ※落札決定通知日以降、契約件数にカウントします。

適用拡大

【地域貢献Ⅰ型】に以下の評価項目を追加します。

評価項目	評価内容(概要)
提出された工事実績の成績点	施工実績として提出された工事が過去5年間にしゅん功した本市発注工事(当初設計金額500万円以上)であり、その工事の成績評定点が一定の点数以上である場合に加点します。

評価対象の拡大

以下の評価項目について、評価対象を拡大します。

評価項目	型式	拡大する内容(概要)
継続教育(CPD)の取組状況	計画実績Ⅰ	CPDの取組みをより適正に評価するため、複数年による推奨取得単位を設定している場合は、評価対象を前年度に限定せず、複数年による取得も評価の対象とします。 【評価対象のCPD制度・期間は案件ごとに告示で指定】
若手・女性技術者の現場代理人の従事経験	人材	豊富な実績を有しない若手・女性技術者をより適正に評価するため、過去10年間に公共工事の現場代理人の従事経験がある場合は、同種工事でない場合も加点します。
過去3年間の災害対応等の活動実績	計画実績Ⅰ 実績Ⅱ 地域Ⅰ	札幌造園緑化建設業協議会に加入し、「災害時等における連携協力に関する協定」の対象となる企業を評価対象とします。

評価項目名称の変更

【地域貢献Ⅰ型】の以下の評価項目の名称を変更します。(評価対象は変更なし)

改正前の評価項目	改正後の評価項目
過去3年間継続した本市ボランティア等の活動実績	過去3年間継続した本市ボランティア等まちづくり事業の活動実績

評価項目・評価区分の廃止

【実績評価Ⅱ型】の以下の評価項目の評価区分を一部廃止します。

廃止する評価項目等	型式	廃止理由
公共工事の施工実績 「提出のあった工事実績が、札幌市が発注した工事」	実績Ⅱ	本市発注工事は本市の工事成績点を適用した評価と重複するため、実績評価Ⅰ型等と同様の評価区分・配点に変更
本市発注の手持ち工事の状況	地域Ⅰ	新設する「本市の社会資本を支える地元企業の契約件数の状況」に移行 ※「手持ち工事数」から「契約件数」による評価に変更

配点の変更

以下の評価項目の配点を変更します。(評価対象は変更なし)

評価項目	適用型式	変更理由・変更内容
本店所在地	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	地元企業の受注機会の拡大
市内企業活用の施工計画	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	
過去5年間本市工事表彰回数	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	インセンティブ効果の拡大
過去5年間の本市雪対策事業等の従事実績	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	
提出された工事实績の成績点	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	技術評価点が接近することによる「くじ引き」発生の回避。最高位と次順位の配点差を拡大(0.5点差→1.0点差)
過去10年間の主任(監理)技術者の従事経験	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	
過去の従事工事における成績点	計画・実績Ⅰ	
技術者資格保有状況	計画・実績Ⅰ・実績Ⅱ	
若手技術者の活用状況	人材	若手技術者の登用促進
女性技術者の活用状況	人材	女性技術者の活躍推進
企業の工事成績の平均点	地域Ⅰ	評価のバランスの確保

新設する型式について

■ 地域貢献Ⅱ型：地域貢献Ⅰ型を簡素化した評価項目を設定

概要は以下のとおり 略称：地域貢献Ⅰ型→地域Ⅰ

区分	評価項目	評価内容(概要)・配点等
企業	公共工事の施工実績	実績評価Ⅱ型・地域貢献Ⅰ型と同様
	提出された工事实績の成績点	
	企業の工事成績の平均点	
	ISO9001又はサッポロQMSの取得状況	実績評価Ⅱ型と同様
	環境対策認証等の取得状況	
	本工事における主要建設機械の保有状況	
	市内企業活用の施工計画	
	登録基幹技能者又は有資格者の雇用状況	
配置予定技術者の雇用年数		
技術者	過去10年間の主任(監理)技術者の従事経験	実績評価Ⅱ型と同様
	技術者資格保有状況	
	現場代理人の従事経験	
地域貢献等	本市の社会資本を支える地元企業の契約件数の状況	協定締結団体：地域貢献Ⅰ型と同様
	災害協定締結団体への加入状況	
	過去3年間の災害対応等の活動実績	実績評価Ⅱ型と同様
	経営事項審査評価対象の建設機械の保有状況	
	過去5年間の本市雪対策事業等の従事実績	地域貢献Ⅰ型と同様
	障がい者の雇用状況	実績評価Ⅱ型と同様
	過去3年間継続した本市ボランティア等まちづくり事業の活動実績	地域貢献Ⅰ型と同様

■適用年月日

改正後の「札幌市交通局工事総合評価落札方式試行要綱」は、平成 28年2月 19 日以後に告示する工事から適用します。

また、併せて、「札幌市工事等一般競争入札施行要綱」等を改正し、入札事務に関する様式等を改正していますので、**適用日以後に告示する工事等につきましては、変更後の申請書類等をご利用ください。**

なお、工事の入札は、法令に基づく適正な配置予定技術者を確保したうえで、参加することを前提としています。技術者を配置できないこと等により契約を締結しない場合（審査書類を提出しない場合を含む。）は、参加停止措置等の対象となることがありますので、十分ご注意ください。

■参照 **※本改正に伴い、申請書類の様式が変更となりますので、ご確認ください。**

【札幌市交通局工事総合評価落札方式試行要綱（配点表）】

<http://www.city.sapporo.jp/st/keiyaku/50youshiki/50youshiki.html>

【札幌市入札情報サービス（申請書類）】

<https://www.ppi.city.sapporo.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj>